

2015年 新年の挨拶

2015年1月6日

尾池和夫

明けましておめでとうございます。今年も、皆様が、何よりも健康に気をつけて、教育と研究と社会貢献のために励む年になることを祈っております。

今年**2015**年、乙未（きのと ひつじ）の年です。きのとひつじの乙は、芽を出したのはいけれど真っ直ぐに伸びない様子、未は、木の上が繁茂するけれども暗くなるというので、いい意味が出てこない年でもあり、緊張して構えることも重要です。

羊は群れをなす性質を持っています。今、世界に**10億匹**（頭）の羊がいます。中国の戦国時代に、思想家の楊子の隣の羊が一匹逃げました。大勢の人がそれを追いかけてましたが、分かれ道が多く、羊を逃がしてしまったという故事があります。楊子は「学問も同様である」と嘆いたというので、多岐亡羊、亡羊之嘆、岐路亡羊という四文字熟語が出来ました。芸術の道も、多くを求めすぎると何も得られないということになるかもしれません。

こんなことを考えていると、だんだん暗い正月になりました。初詣は、世田谷の松陰神社へ行きました。今年**は初詣**の人がかなり増えていました。今年こそ、萩へ行ってみたいと、私は思っています。何とか、時間を作り出すよう、秘書室にお願いします。

京都は大雪の正月を迎えました。：京都で**61年**ぶりに積雪が**20センチ**を超えました。日本列島は、**3日**、強い冬型の気圧配置の影響をまともに受けて、日本海側を中心に広い範囲で大雪となりました。各地で積雪が記録され、気象庁によると、**3日17時**現在の積雪は、青森市・酸ヶ湯（すかゆ）で**338センチ**を観測したそうです。東北芸術工科大学のある山形県や新潟県で、多い所では**200センチ**を超える積雪があり、北海道や岐阜県でも、**100センチ**超の地点がありました。

京都市では、**1954年**以来、**61年**ぶりに積雪が**20センチ**を超えて、**22センチ**の大雪になりました。4日になっても、冬型の気圧配置は緩みましたが、上空の気圧の谷の影響を受けて、北陸などでは降水量の多い日となりました。この**1954年**には、ビキニ環礁での水爆実験で、日本のマグロ漁船など**100隻**以上の漁船が死の灰を浴びました。このビキニ環礁はユネスコの世界遺産に登録されていますが、被曝の実態はまだ不明のままです。

その翌年が前回の乙未年でした。**1955年**、『ゴジラの逆襲』でゴジラとアンギラスが登場しました。また、バンドンでアジア・アフリカ会議が開催され、欧米の植民地支配から独立したアジアとアフリカの**29ヶ国**が平和十原則を定めました。

今年の年賀状のデザインは、**12年前**の**2003年**のとき、ひつじが編んでいたマフラーが完成して首に巻いています。自分の毛を使ったのでスッキリした姿になりました。このようにデザインは、長い時間の流れの中で、ひそかに育まれているものです。この後で、そ

のデザインに関する本学の考え方が議論されます。今年は、大いにこのデザインを育てるという課題で議論しましょう。

今年はさまさまの周年事業があります。琳派 400 年のプレイベント、ラジオ放送 90 年、8 月 6 日、広島で 70 回目の原爆の日、8 月 9 日、長崎で 70 回目の原爆の日、8 月 15 日、第二次世界大戦終結後 70 回目の終戦記念日を迎えます。ベトナム戦争サイゴン陥落から 40 年、阪神・淡路大震災から 20 年です。

2005 年から 2015 年までの、「命のための水」国際の十年 (International Decade for Action, "Water for Life") は最終年で、2011 年から 2020 年までの、国連生物多様性の 10 年 (International Decade for Biodiversity) は半ばです。

今年の元日のニュースの最初は、朝日新聞社からの連絡で、2014 年度朝日賞 (朝日新聞文化財団主催) が発表され、その受賞者に、坂茂さんの「斬新な発想に基づく設計活動と建築による被災地支援」が入ったというものでした。ちなみに、副賞は 500 万円だそうです。

昨年は、黒木華さんの、ベルリン国際映画祭で最優秀女優賞、坂茂さん、米プリツカー賞、サントリー学芸賞の非常勤講師福嶋亮大さんの「復興文化論」、池田泉州銀行、カレンダー原画、最優秀作に原舞弥さんの「飛び越えていく」が選ばれました。

本学の役員、教職員、学生、卒業生の活躍は、昨年の 1 年を通じて、たいへん立派なものでした。大分県では国東半島芸術祭が行われ、宮島達男先生の成仏プロジェクトが話題になり、6 万人の参加者がありました。横浜トリエンナーレでは、やなぎみわさんの『日輪の翼』が移動舞台車で発表されました。

山本太郎さんの「ニッポン画 ちいさきもの」展は 1 月 13 日まで、日本橋高島屋です。宮永愛子さんの茶室「そらみみみそら一五月雨御殿」、3 月 22 日まで、山口県立萩美術館です。これを見られるうちに、萩へ行けるといいなと思います。

世はビッグデータの時代です。私の場合は 30 年前から統計数理研究所と一緒に地震活動の予測を行っており、数万件の京都とその周辺の、1300 年にわたる長期間の小さい地震を含むデータから、次の南海地震の発生を 2038 年と予測し、その 50 年ほど前から西日本の活断層帯が活動するという論文を書いていたので、ビッグデータの活用は早くから心得ておりました。

特定時期の上昇語が検索データの活用に重要な意味を持ちますが、京都造形芸術大学という単語が上昇する時期が年間数回あります。これを大いに大切にして、今年も頑張っていたきたいと思います。

フランスでは、本島修さんが機構長をつとめる国際熱核融合実験炉が建設中で、2020年の完成を目指しています。2040年には今の2倍程度の電力料金での発電が実現できる見通しです。ここでは若い研究者の活動が注目されるので、私もそこに興味を持って見ています。

インフレーションは短期的に経済活動を活性化しますが、長期的に見れば社会を麻痺させてしまい、そこからの回復は容易ではないという状況を作ります。それを解決する手段として行われた戦争の歴史を忘れてはなりません。

日本では、1923年に関東大震災があり、1925年には治安維持法が制定されました。1940年には東京でのオリンピックが決まっていたのですが、戦争のために返上されました。ご承知のように、2011年の東日本大震災の後、2013年、特定秘密保護法が制定され、2020年には東京オリンピックが予定されていて、東京を中心に短期的な経済活動の活性化が進められています。かつてと同じように戦争への道を歩むことだけは決してないように、私たちは油断なく教育と研究を進めて行かなければなりません。

今年も、松陰の言葉、「学問とは、人間はいかに生きていくべきかを学ぶものだ」を思い起こしつつ、「何も着手に年齢の早い晚いは問題にならない」という言葉を重んじて、さまざまの取り組みを進めていきたいと思っています。

どうか今年もよろしく願いいたします。